

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市の文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与した。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与した。

参加・体験事業

(1) 文芸作品募集事業 (補助金事業 決算額 1,987,508円)

1 子どものための文芸コンクール「書こう! きみの物語」

小中学生を対象に童話、児童文学、小説の創作作品を公募し、優秀作品に賞を授与した。入賞作品はウェブサイトで公開するとともに、授賞式では選考員が作品を講評し、作品集を刊行した。

作品募集期間/2025年7月15日(火)~9月16日(火)

応募件数/97件

選考/小学1~2年生、小学3~6年生、中学生の各部で最優秀賞1件、優秀賞2件、佳作2件の計15件の入賞作品を選考。

選考...ながおたくま、藤 真知子、増田喜昭

授賞式/2026年1月10日(土) 名古屋能楽堂会議室 来場者数/61人

作品集発行部数/1,500部

2 コトノハなごや

名古屋にまつわる写真から想起される短編の創作作品を公募し、優秀作品に賞を授与するとともに、ウェブサイトで公開した。あわせて、選考員が入選作品の講評や文芸の魅力を語る関連イベント「コトノハなごやサロン」を開催した。

作品募集期間/2025年7月15日(火)~9月2日(火)

応募件数/170件

一次選考/児童文学ZOOの会他により入選20作品を選考。

最終選考/入選作品から金賞1件、銀賞2件、佳作2件の計5件の入賞作品を選考。

選考...太田忠司、奥山景布子、中村 航

コトノハなごやサロン

日程/2025年12月14日(日) 名古屋能楽堂会議室 来場者数/32人

開催報告書発行部数/1,500部

(2) 学生参加事業 (補助金事業 決算額 3,051,473円)

NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2025

学生の文化芸術活動を支援するため、学生参加型の事業を企画。地元で活動する中高生のジャズビッグバンドが多数出演する音楽イベントを開催した。なお、今回は、岡谷鋼機株式会社の協賛をいただいた。

日程/2025年8月9日(土)~10日(日)〈4回〉 会場/アマノ芸術創造センター名古屋

出演/名古屋市立守山西中学校、向陽高等学校はじめ13組(409人)

ゲスト/TRI4TH、bohemianvoodoo

入場者数/1,528人(入場者好評価率/95.9%)

協賛/岡谷鋼機株式会社

(3) 子どもアートランド (補助金事業 決算額 6,469,445円)

「子どもアート万博」「子どもアートピア」に続く、地域と連携した子ども向け参加体験イベントを実施した。今回は、東文化小劇場と市民ギャラリー矢田において、「音とアート」をテーマにした公演やワークショップを通じて、子どもたちが気軽に文化芸術に触れられる機会を創出した。

日程/2025年12月20日(土)~21日(日) 会場/東文化小劇場、市民ギャラリー矢田

出演/セントラル愛知交響楽団、名古屋造形大学情報表現領域 他

来場者数/4,942人(来場者好評価率/94.7%)

助成/一般財団法人地域創造、芸術文化振興基金

(4) 子ども美術展 (自主財源事業 決算額 686,208円)

子ども名画展～なごやのまち～

名古屋市内の名所やランドマーク施設などで開催されている子ども向け絵画コンクール(写生大会)の優秀作品を、名古屋の中心地に位置する市民ギャラリー栄に集めて再展示した。

日程／2026年1月6日(火)～11日(日) 会場／市民ギャラリー栄

出品施設／名古屋港、農業文化園・戸田川緑地、鶴舞公園、名古屋市科学館

出展作品数／94作品

来場者数／859人(来場者好評価率90.5%)

(5) NAGOYA NOH THEATER 【新規】(補助金事業 決算額 11,425,738円)

名古屋能楽堂を起点に、能楽をデジタルコンテンツを活用して発信した。また、学生と協働し、オリジナルキャラクターの制作など、名古屋城や名古屋の中心部を訪れる多くの観光客や若い世代が、能楽に気軽に触れられる機会とした。

1 能楽いつでもWATCH

観光施設の側面を持つ能楽堂で、いつでも能楽を体験できるデジタルコンテンツ(能楽及び名古屋能楽堂PR動画、オリジナルキャラクター)を制作した。

協力／伏木啓(名古屋学芸大学教授)、能楽協会名古屋支部

2 能楽まちなかWATCH

名古屋市内のにぎわいのある会場において、能楽のステージを実施。能面や能装束、囃子方の体験コーナーを設け、能楽に気軽に触れる機会を通じて、能楽堂への来場を促した。

日程／2025年9月13日(土)〈1回〉 会場／オアシス21 銀河の広場

演目／能「竹生島」、狂言「梟山伏」

出演／内藤飛能、衣斐愛(シテ方宝生流)他

来場者数／5,110人(来場者好評価率／90.2%)

鑑賞事業

(1) なごや子どものための巡回劇場 (補助金事業 決算額 8,937,042円)

演劇、人形劇、音楽劇、管弦楽、バレエ等の公演を、子どもたちに身近な会場(文化小劇場など)で開催した。

[上期]

1 名古屋オペラ協会「落語オペラ『まんじゅう怖い・転失気』」

日程／2025年7月24日(木)、25日(金)、31日(木)、8月1日(金)〈8回〉

会場／緑文化小劇場、千種文化小劇場、東文化小劇場、中村文化小劇場

入場者数／2,132人(入場者好評価率96.4%)

2 岡田純奈バレエ団「シンデレラ」

日程／2025年8月8日(金)～11日(月・祝)〈8回〉

会場／昭和文化小劇場、天白文化小劇場、北文化小劇場、港文化小劇場

入場者数／2,420人(入場者好評価率100%)

3 名古屋フィルハーモニー交響楽団「名フィルがやってきた！」

日程／2025年8月27日(水)、28日(目)〈4回〉

会場／守山文化小劇場、瑞穂文化小劇場

入場者数／1,381人(入場者好評価率97.6%)

[下期]

1 演劇人冒険舎「南の丘の大きな切りかぶ」

日程／2026年3月25日(水)、26日(木)〈4回〉

会場／西文化小劇場、南文化小劇場

入場者数／514人(入場者好評価率94.9%)

2 セントラル愛知交響楽団「ハローオーケストラ」

日程／2026年3月26日(木)、27日(金)〈4回〉

会場／名東文化小劇場、中川文化小劇場

入場者数／984人(入場者好評価率92.6%)

3 プレジャー企画「コメディ・クラウン・サーカス」

日程／2026年3月26日(木)、27日(金)〈4回〉

会場／中区役所ホール、熱田文化小劇場

入場者数／1,309人(入場者好評価率100%)

〈全16区32公演〉入場者数計／8,740人(入場者好評価率／96.9%)

(2) 子どもに贈る文化芸術体験提供事業 こんにちは！ 子どもTouch

(自主財源事業 決算額 1,101,934円)

養護施設や母子生活支援施設など、諸事情で劇場に足を運ぶことが困難な子どもたちに、文化芸術を届けるアウトリーチ事業を開催した。

時期／通年

会場／14施設 (児童心理治療施設くすのき学園、名古屋市中央児童相談所一時保護所、児童自立支援施設玉野川学園 他)

実施回数／17回

出演／劇団うりんこ、プレジャー企画、Nagoya POP UP ARTIST認定アーティスト 他

参加者数／561人 (参加者好評価率／87.1%)

(3) 市民のための芸術鑑賞会 (自主財源事業 決算額 9,961,553円)

大規模ホールを会場に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催した。

1 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会

日程／2025年5月15日(木)〈1回〉 会場／Niterra日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

入場者数／1,106人 (入場者好評価率87.3%)

2 人形浄瑠璃「文楽」

日程／2025年11月20日(木)〈2回〉 会場／アマノ芸術創造センター名古屋

入場者数／1,315人 (入場者好評価率／94.0%)

(4) 市民半額鑑賞会 (自主財源事業 決算額 1,171,805円)

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供した。

第1回 2025年 7月～9月 / 応募枚数1,258枚 当選枚数411枚 提供枚数365枚

第2回 2025年11月～12月 / 応募枚数2,327枚 当選枚数617枚 提供枚数534枚

第3回 2026年 2月～3月 / 応募枚数1,285枚 当選枚数492枚 提供枚数425枚

計 4,870枚 1,520枚 1,324枚

補助／公益社団法人日本演劇興行協会

友の会事業 (自主財源事業 決算額 7,671,386円)

会員向けの落語会を行うとともに、催し物情報等を掲載した情報紙「友の会だより」を発行した。

1 事業団主催事業などの会員向け優先予約や割引

2 会員への情報提供事業

市内文化情報やイベント情報を毎月送付

3 会員を対象とする文化事業

春風亭小朝 新春独演会

日程／2026年2月6日(金)

入場者数／715人 (入場者好評価率／92.8%)

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通して、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与した。

(1) 総合舞台芸術公演 (補助金事業 決算額 34,080,536円)

名古屋市文化振興事業団2026年企画公演ミュージカル「赤毛のアン」

度重なる困難の中にあってもひたむきに生き、未来をつかみとっていく少女の姿を描いた「赤毛のアン」のミュージカル作品を、若手の舞台芸術関係者を中心としたスタッフ・キャストで制作・上演した。

日程／2026年1月23日(金)～25日(日)〈6回〉 会場／青少年文化センター

上演台本・演出／平野智子 音楽監督・指揮／柴田 祥 振付／小川こういち

管弦楽／アヴォンリー・ユース管弦楽団(当公演のために若手中心に25人で編成するオーケストラ)

オーディション応募者数／144人 出演者数／35人

入場者数／3,116人(入場者好評価率97.4%)

支援事業／①オーディション落選者応援プロジェクト

・基礎力向上ワークショップ

(ア)歌唱ワークショップ 日程／2025年 9月28日(日)

参加者数／10人 参加者好評価率／100%

(イ)ダンスワークショップ 日程／2025年10月12日(日)

参加者数／10人 参加者好評価率／90.0%

・アウトリーチコンサート

(ア)名古屋市東部地域療育センター 日程／2025年11月 5日(水) 入場者数／58人

(イ)名古屋市西部地域療育センター 日程／2025年11月12日(水) 入場者数／55人

(ウ)名古屋市南部地域療育センター 日程／2025年11月28日(金) 入場者数／68人

・公演期間中のフロント業務への参加募集 参加者数／6人

②企画公演のあゆみ ポスター・写真展

日程／2025年12月10日(水)～2026年1月26日(月)

会場／ナディアパーク7階 文化情報ひろば

来場者数／3,486人(来場者好評価率／97.7%)

③伴奏ピアニスト才能発掘プロジェクト 応募者数／8人 参加者数／4人

補助／公益財団法人 J K A

(2) 企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展2026

(補助金事業 決算額 2,353,249円)

次世代を担う企画者・美術家からのアイデアを公募し、コンペティションによる選考を経て、文化芸術の新たな発信源となるような意欲的な美術展を開催した。なお、会場監視員を芸術大学の学生に依頼するなど、若い世代のセルフマネジメントにつながる実践の場として活用した。

1 美術展(応募15件から3企画を採用)

日程／2026年1月9日(金)～18日(日) 会場／市民ギャラリー矢田

企画／第1展示室「石の裏を覗く」企画者／山岸耕輔

第2-3展示室「手ぶらという仕草を眺める」企画者／高見知沙

第4-7展示室「The correct life」企画者／村瀬ひより

3企画合同ギャラリーツアー 出演／3企画者及び鶴尾佳奈 来場者数／48人

来場者数／1,764人(来場者好評価率81.4%)

2 次年度企画募集

企画応募期限／2025年11月4日(火)

応募件数／19件 採択件数／3件

(3) 舞台芸術創造事業 (補助金事業 決算額 4,356,908円)

REIWAロミジュリ・ストーリー DANCE BATTLE—フラメンコvsタップ—

鉄のついた靴でリズムを生み出すという共通点を持ちながら、全く異なるルーツを持つフラメンコとタップダンス。「ロミオとジュリエット」を下敷きに、それぞれの魅力をぶつけ合うダンスバトルと、コラボレーションによる新たな融合を、生演奏とともにお届けした。

日程／2026年2月14日(土)〈1回〉 会場／青少年文化センター

総合演出・振付／加藤おりは 振付／市川ミサオ

出演／加藤おりは、市川ミサオ 他16人、布施安寿香(語り)、演奏6人

入場者数／632人(入場者好評価率90.0%)

(4) 名古屋市民芸術祭 2025 (補助金事業 決算額 5,290,053円)

総合的な芸術の祭典として、2025年10月～11月に名古屋市民芸術祭2025を開催した。

1 主催事業

①名古屋いけばな芸術展2025

日程／2025年10月21日(火)～26日(日) 会場／市民ギャラリー栄

出品者数／226人 来場者数／5,659人 (来場者好評価率／84.9%)

②名古屋市民美術展

日程／2025年11月25日(火)～30日(日) 会場／市民ギャラリー栄

出品者数／143人 来場者数／2,871人 (来場者好評価率／86.7%)

友好都市協定を締結している岩手県陸前高田市の「陸前高田市民芸術祭」へ、日本画16作品を出張展示した。

2 参加事業

参加公演 20公演 ※応募件数41件

受賞公演／市民芸術祭賞 3公演

[音楽] 吉田文パイプオルガンリサイタルThe Leipzig Connections 1908
-風琴浪漫の知られざる英雄たち-

[演劇] ハコトバコ第4回本公演「BRUTE」

[伝統芸能] 第10回なごや古典らいぶ～古典の真髄 未来への継承～

市民芸術祭特別賞 4公演

[音楽] クリエイティブ企画賞／Duo Aurea Donna Onna

～歌曲でたどる女性作曲家の世界～

[演劇] 奨励賞／劇団サカナデ第5回本公演「この音はどこまで」

[舞踊] アンサンブル創造賞／内田好美フラメンコソロ公演

「孤独生」Vol.4/10 ～徨～

オマージュ・ヒデオ賞／アカデミー国枝バレエ2025公演

「シンフォニー・ファンタスティック

～ある男の物語～

～pour les jeunes～＜第2部＞

入場者数／7,417人

来場者数計／15,947人(来場者好評価率／85.8%)

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭DOORS (実行委員会形式)

(負担金事業 決算額 17,446,700円)

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭DOORS」(2025年10月25日(土)～11月16日(日))のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「まちなか芸披露」として、舞台公演を制作する「舞台鑑賞事業」2公演と、まちなかで気軽に伝統芸能に触れていただく「まちなか鑑賞事業」及び「体験事業」を実施した。

1 まちなか芸披露・舞台鑑賞事業

①能楽公演 ～鬼～ 能「安達原」狂言「首引」

初心者にも楽しんでいただける「鬼物」を上演。子どもや能楽を初めて鑑賞する方のため、より分かりやすい公演プログラムを制作した。

日程／2025年11月1日(土)〈1回〉 会場／名古屋能楽堂

出演／久田三津子(シテ方観世流) 他 入場者数／424人(入場者好評価率／87.8%)

②新作日本舞踊「生きとし生けるもの」

日本舞踊7流派の垣根を超えて結成された結noKAIが、名古屋をテーマにした新作日本舞踊を創作し上演した。

日程／2025年11月8日(土)〈1回〉 会場／名古屋能楽堂

出演／結noKAI(名古屋日本舞踊協会若手ユニット)、佐野亜子、竹内裕美(箏曲)

若山 和(太鼓)、宇佐美優(ヴァイオリン)、細川杏子(フルート)

高橋翔太、深谷賢人(アクロバット)

入場者数／507人(入場者好評価率／91.3%)

2 まちなか鑑賞事業及び体験事業

① まちなか芸披露オープニングin イオンモール大高

日程／2025年10月25日(土) 会場／イオンモール大高 来場者数／1,650人

出演／井上蒼大、平野透山、竹本知子、工藤倉鍵 他

② まちなか芸披露ステージin ナディアパーク

日程／2025年11月3日(月・祝) 会場／ナディアパーク 来場者数／1,250人

出演／井上松次郎、佐藤亜衣、清水裕貴、常磐津綱連 他

③ まちなか芸披露ステージin 大同特殊鋼Phenixスクエア

日程／2025年11月16日(日) 会場／サカエチカ 来場者数／1,300人

出演／鹿島俊裕、今枝郁雄、浅井りえ、間瀬礼章、RE-act 他

④ お座敷ライブ、志野流香道、松尾流茶会、なごや和菓子プログラム

日程／2025年10月25日(土)～11月16日(日) 来場者数／266人

会場／か茂免、志ら玉、志野流家元、松尾流楽只会館、FOODLAB. 358 TSURUMA PARK

来場者数計／5,397人(来場者好評価率計／90.4%)

(6) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST 〈実行委員会形式〉

(負担金事業 決算額 1,245,325円)

アーティストの活動支援とまちの賑わいづくりに貢献するため、公募によるオーディションで、地下鉄駅や商業施設等で自由にパフォーマンスができるライセンスを合格者に発行した。

新規アーティスト選考

一次選考(書類・映像) 2025年7月18日(金) 応募75組から32組を選考

二次選考(実技) 2025年8月19日(火) 32組から30組を選考

認定アーティスト数／累計149組

登録会場／名古屋城、鶴舞公園など市内16施設

実施回数(累計)／1,792回

(7) イベント開催等支援事業 (自主財源事業 決算額 1,879,468円)

1 イベント開催支援

イベントの開催を検討している主催者に、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場としての機会を創出した。

受注件数／3件(名古屋城茶席庭園コンサート、中和会賀詞交歓会 他)

2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムを活用し、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを運営した。

販売枚数／35,020枚

3 文化芸術に関する相談窓口

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドに設けた。

相談件数／202件

(8) 名古屋市文化振興事業団芸術創造賞 (自主財源事業 決算額 867,991円)

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋圏域の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後とも活躍が期待できる個人(団体)を選考し、第41回芸術創造賞を授与した。

受賞者／内藤飛能〈伝統芸能(能楽シテ方)〉、水上卓哉〈美術(絵画)〉

授賞式／2025年8月20日(水) 名古屋能楽堂会議室 来場者数／32人

(9) 名古屋市文化振興事業団演劇賞 (自主財源事業 決算額 507,109円)

名古屋女性演劇賞の授与

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏(劇団・夏蝶)のご遺族からの寄付金をもとに、故人の演劇分野の振興に対する情熱を後世に受け継ぐことを目的として、名古屋圏域の演劇の振興に寄与し、今後とも活躍が期待できる女性演劇関係者(個人)を選考し、名古屋女性演劇賞を授与した。

受賞者／ニノキノコスター〈演出家・劇作家〉

授賞式／2026年3月3日(火) 名古屋能楽堂会議室 来場者数／26人

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図った。

(1) 文化情報誌の発行 (補助金事業 決算額 1,885,872円)

「なごや文化情報」(12ページ)を発行し、名古屋市域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供した。

発行部数/8,000部

発行回数/4回(季刊)

掲載内容/この人と…(414号/吉本作次、415号/太田忠司、416号/井原義則)

#zoom up(414号/若山 和、415号/設楽 陸、416号/黒河内彩、417号/長谷川元志)他

(2) 文化情報ひろばの運営 (補助金事業 決算額 9,029,045円)

市内及び近郊で開催される公演や美術展のチラシの配架、ポスター掲出、CINEMAPORTでの映画情報の提供、文化芸術関係の図書の閲覧コーナーを設けるなど、ナディアパーク7F文化情報ひろばを運営した。

チラシ配架数/3,185件 図書数/約3,000冊

(3) 能楽堂PRグッズの制作【新規】(自主財源事業 決算額 3,405,173円)

名古屋能楽堂玄関ホールに、大型デジタルサイネージやフロアマップ、カプセルトイ自動販売機を設置し、幅広い層の来館者に向けたPRを展開した。また、オリジナルキャラクターを活用した商用グッズを開発し、能楽の魅力を発信した。

4 文化活動拠点づくりのための文化事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を生かした文化事業を行った。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館（中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和）、名古屋市民ギャラリー2館（栄・矢田）、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営をとおして、市民の文化活動を支援した。

※以下の施設は工事のため休館し、現在は開館。

4月1日～6月23日	天白文化小劇場	空調設備更新工事
4月1日～6月30日	東文化小劇場・市民ギャラリー矢田	昇降機取替工事
9月20日～1月16日	南文化小劇場	舞台機構改修工事
11月1日～2月9日	中村文化小劇場	舞台機構改修・外壁工事
1月4日～1月31日	守山文化小劇場	音響設備改修工事
1月13日～2月28日	熱田文化小劇場	自動火災報知設備その他取替改修工事
2月2日～2月28日	瑞穂文化小劇場	屋根防水改修工事
1月4日～3月31日	演劇練習館	空調設備更新工事

(2) 施設事業

上記の23施設において、392事業を実施。代表的な事業は下記の通り。

1 舞台公演等創造事業

音楽、舞踊、演劇など多彩な公演を制作し、名古屋の文化基盤を強化するとともに、市内外に発信した。

① アートピアクリエイティブステージ

（青少年文化センター）

文化芸術活動に打ち込む青少年に、プロのアーティストとのコラボレーションの場を提供。劇団アルクシアター主宰のやとみまたはち氏の作品「希望の歌が眠る場所」をテーマに取り上げ、やとみ氏をはじめとした劇団アルクシアター劇団員による芝居のワークショップとミニ発表会を実施。「希望の歌が眠る場所」の本編も青少年文化センターホールにて公演を行い、体験と鑑賞を結びつけた。

ワークショップ参加者数／53人 公演入場者数／929人

② 地域公共劇場連携事業「りすん 2025 edition」リ・クリエイションツアー

（千種文化小劇場・演劇練習館）

芥川賞作家・諏訪哲史氏の小説を、故天野天街氏が舞台作品にした意欲作を再構築し、岡山県芸術創造劇場、多治見市バロー文化ホール、伊丹市立演劇ホール、KAAT神奈川芸術劇場と連携して制作した。

入場者数／509人（千種文化小劇場）

③ Nagoya Theatre Performer Project (NTPP)

（中村文化小劇場・演劇練習館）

出演者は11歳から23歳までの演劇に興味のある方を公募。講師として劇作家・演出家の八代将弥氏、俳優・演出家のおぐりまさこ氏らを招き、八代氏による書き下ろし作品「式の解放」を上演。音楽は名古屋で活躍するQaijff（クアイフ）が担当し、一から演劇を創り上げる公演を開催した。

受講者数／17人 入場者数／421人

2 地域コミュニティ創出事業

地域コミュニティの活性化のため、文化芸術を活用して、地域社会の課題解決を図った。

① 劇場パートナーの運営

(文化小劇場、市民ギャラリー矢田)

各文化小劇場において、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる多様なジャンルの実演団体を運営した。

参加者数／540人 (15団体合計)

② ボランティア研修

(アマノ芸術創造センター名古屋、青少年文化センター)

ボランティア研修会を開催して交流を図ることで、劇場を市民参画の場とするとともに、劇場の運営についてご意見をいただく機会として活用した。

- ・芸術創造センター ボランティア研修会

フロントスタッフとして必要な接客や誘導についての研修を実施。車いすの方の誘導方法など、バリアフリーについても学んだ。

参加者数／10人

- ・アートピア シアターボランティア講座「劇場で話す『やさしい日本語』」

日本語に不慣れな外国の方など、だれにとってもわかりやすい「やさしい日本語」について、劇場やイベントなどで活用できる実践的な講座を実施した。

参加者数／11人

3 バリアフリー事業

障がいのある方へのチケット割引や鑑賞サポート等を行い、年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず様々な人が参加できる事業を実施した。

① スマイルギフト

(全ホール施設)

経済的な支援を必要とする子どもたちを公演に招待した。

招待枚数／538枚

② 多文化共生事業

(港文化小劇場)

主として日本人を対象とし、ブラジル料理のワークショップと映画上映会&トークを開催。ナビゲーターとしてブラジル人タレント・ヴィトル氏を起用し、ブラジルの文化についての理解を深める場とした。

入場者数／240人

③ 車いすダンス公演

(千種文化小劇場)

段差のないバリアフリーな劇場の特長を生かし、障がいの有無に関わらず、それぞれが得意な表現活動を行うダンス公演を開催。ボイスパフォーマーの白樺八青氏をゲストに、車いすダンスと朗読のコラボレーションを実施した。

入場者数／131人

4 文化芸術体験事業

質の高い文化芸術を鑑賞・体験する事業を実施し、文化芸術に親しむ人づくりを長期的な視点をもって実施した。

① みる・まなぶ・ダンス！

(全文化小劇場／アウトリーチ)

名古屋市立の全幼稚園を対象に、コンテンポラリーダンスのワークショップを開催し、協調性やコミュニケーション能力を養う機会を創出した。

訪問園数／20園

② 夏休み子どもミュージカル講座

(中村文化小劇場・演劇練習館)

夏休み期間中に、子どもたちがプロの演出家に音楽・ダンス・演劇を学び、舞台に立つ機会を提供した。

参加者数／23人 発表会入場者数／150人

③ プロに学ぶ演劇講座

(天白文化小劇場)

名古屋で活躍するプロの俳優による、初心者でも参加できる演劇講座を開催し、最終日には劇場での発表の場を設けることで、演劇文化の土台作りに貢献した。

受講者数／40人

5 支援育成事業

新進芸術家の育成を視野に入れた事業を展開し、名古屋の文化芸術の発展に寄与した。

① バレエアカデミー

(アマノ芸術創造センター名古屋)

バレエを学ぶ若い世代を対象に、各バレエ団等の垣根を超えて、質の高い指導を受ける機会を提供。バレエに関わる人材の育成を図るため、講座修了後には修了公演を実施した。

講座参加者数／20人 修了公演入場者数／494人

② 能楽インターンシップ

(名古屋能楽堂)

能楽の世界に進みたい学生等が、プロの能楽師が開設する稽古場での指導を体験するインターンシップ型事業を実施した。

参加者数／5人

③ 次世代アーティスト企画展

(市民ギャラリー栄)

Project Space hazi「ぼくたちのスーベニア」×場七「斑点を結ぶ」

若手アーティストをピックアップし、次世代アーティスト企画として個展を開催した。

来場者数／650人

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成しておりません。